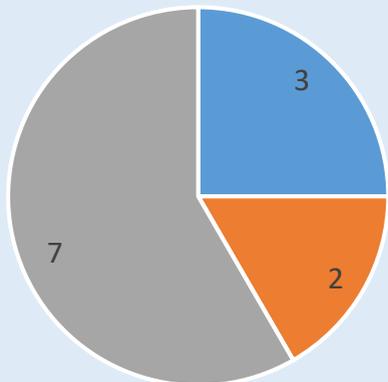


# 地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

# 事前アンケートの主な意見（区東部）

## 地域医療連携システムの導入状況



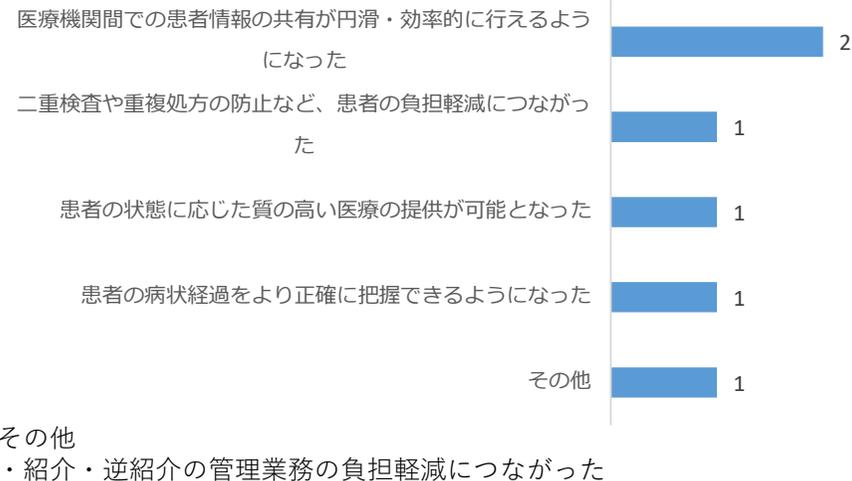
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

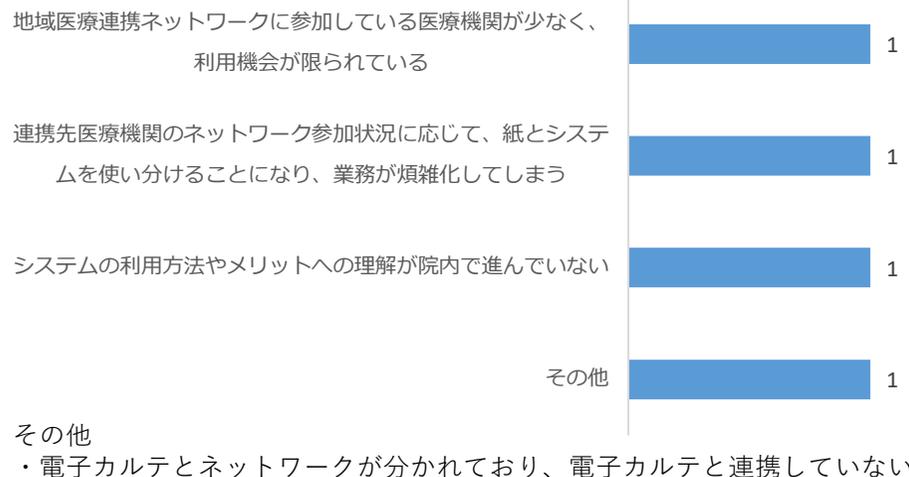
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	1	0
急性期/サブアキュート	5	2
回復期/ポストアキュート	2	0
慢性期	0	0
ケアミックス（急性期・回復期）	1	0
ケアミックス（回復期・慢性期）	0	0
その他	3	1
計	12	3

## ■ 導入済みの病院の回答

### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



### 導入や運用面での課題（複数回答可）



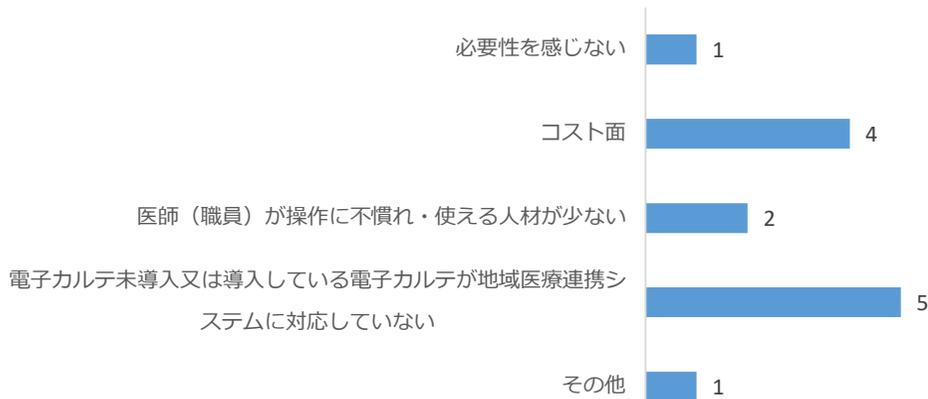
# 事前アンケートの主な意見（区東部）

## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・ 診療情報提供書のFAX送付、郵送
- ・ メール、電話
- ・ オンラインによる情報共有

### 導入していない理由（複数回答可）



- その他
- ・ 検討中のため

### どのような点が改善されれば導入するか

- ・ 地域全体の医療機関が参加することで意味をなす。旗振り役が必要。
- ・ 必要性が感じられる内容とコスト面
- ・ 必要な人員の確保
- ・ 電子カルテの導入
- ・ システム間の互換性
- ・ 個人情報の取り扱い（本人に使用確認が必要な面等）
- ・ 事務作業要員の増員
- ・ 電子カルテ等ITのインフラ整備
- ・ HL7FHIRによる統一医療連携の達成

## ■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

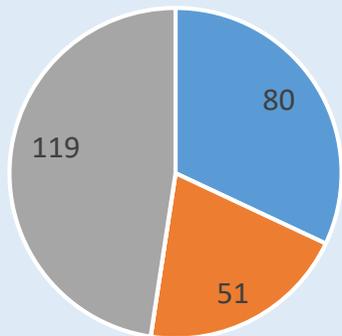
- ・ 他の医療機関と、医療情報（処方内容、検査結果、画像データ）のやり取りが多い。共有できるシステムがあると手間も省け、効率の良い医療が提供できる。緊急時は特にスピードが求められ、FAXや郵送では限界あり。医療情報を共有できるシステムを「地域全体」で導入できたらよいと思う。そのためには、システム導入の旗振り役、医療情報の漏洩保護の観点が重要。
- ・ 各医療機関が専門・非専門領域を互いに共有し、適切な施設にて適切な医療を受けられる姿。
- ・ 一個人の情報がすべて活用できるのであれば有効性が高いと思う
- ・ セキュリティの面での安心が担保されている点が重要

## ■ 地域医療構想に関する意見

（回答なし）

# 事前アンケートの主な意見（都全域）

## 地域医療連携システムの導入状況



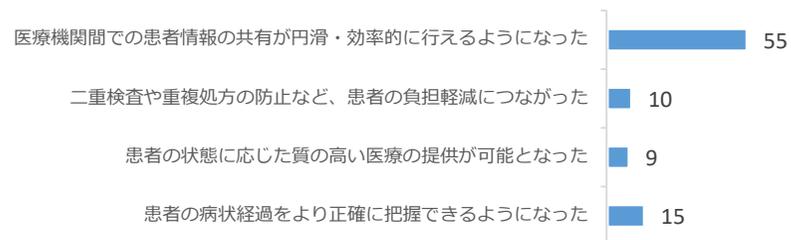
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

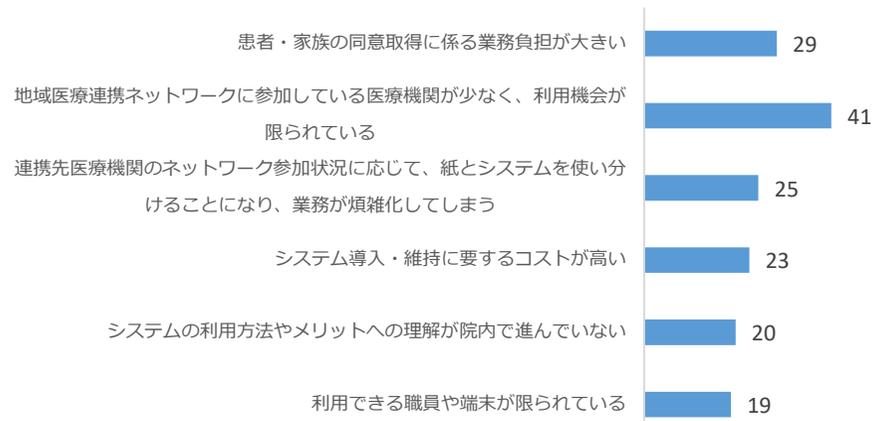
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	19
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	80

## ■ 導入済みの病院の回答

### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



### 導入や運用面での課題（複数回答可）



## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 導入していない理由（複数回答可）

